

令和4年3月1日
鳥山総合支所
危機管理部

オウム真理教問題対策（状況）について

1 現地の状況

信者の居住状況について、関係機関からの情報では、GSハイム鳥山（南鳥山6-30-19）に「ひかりの輪」信者5名程度が居住している模様である。

2 鳥山地域オウム真理教対策住民協議会の活動状況

(1) 令和3年度の活動状況

令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、リサイクルバザーや抗議デモ・学習会など、多くの参加者、来場者が見込まれる事業は中止としたが、地域住民による現地の監視活動や住民協議会ニュースの発行等は継続した。また、令和3年12月には、住民協議会代表者が「ひかりの輪」信者の居住するGSハイム鳥山に赴き、抗議文を投函する抗議行動を行ったほか、オウム真理教対策関係市区町連絡会の法務大臣等に対する要請行動に同行し、直接地元住民の切実な思いを訴えた。

(2) 令和4年度の活動予定

令和4年度の活動については、例年4月に実施しているリサイクルバザーは感染症拡大防止のため中止としたが、5月の抗議デモ・学習会は実施形態をデモから集会に変え、以下の通り実施する予定である。また、他の活動についても感染症の状況を注視しながら継続していく予定である。

第44回 抗議集会・学習会

日 時 令和4年5月14日（土）午後1時30分～4時頃

場 所 抗議集会：鳥山区民センター前広場

学 習 会：鳥山区民会館ホール

講師 中村裕二氏（弁護士、オウム真理教犯罪被害者支援機構副理事長）